

*Tominaga Tarō* + *Nakahara Chūya*



嫌悪に満ちた友情



# 富永太郎と 中原中也

特別企画展

2019年8月1日[木] → 9月23日[月・祝]

開館時間◎午前9:00 → 午後6:00(入館は5:30まで)

休館日◎毎週月曜日(ただし8月12日、9月16日、9月23日は開館)、8月27日、9月17日

入館料◎一般320円(270円) 学生210円(162円) 70歳以上、18歳以下は無料 ( )内は20人以上団体料金

協力: 県立神奈川近代文学館

左: 富永太郎画 自画像(部分) [1921年] 県立神奈川近代文学館蔵 右: 中原中也 [1923年頃]

主催: 公益財団法人山口市文化振興財団

中原中也記念館

2019年 中原中也記念館は開館25周年

# 富永太郎と 中原中也

中原中也は17歳の時、6歳年長の詩人・富永太郎と出会います。フランス詩に造詣が深く、詩や絵画の創作に才能を発揮した富永は、中也に大きな影響を与えました。二人は、互いに惹かれ合いながらも嫌悪が混じり合う複雑な交友を結びます。しかし、富永は病魔に襲われ、二人に永遠の別れが訪れます。

硬質で理知的な散文詩の世界を展開した富永。富永を通してフランス象徴詩を知り、独自の抒情詩を追求していく中也。

本展では、県立神奈川近代文学館所蔵の富永太郎資料を中心に、二人の関係性や詩の特性に迫ります。



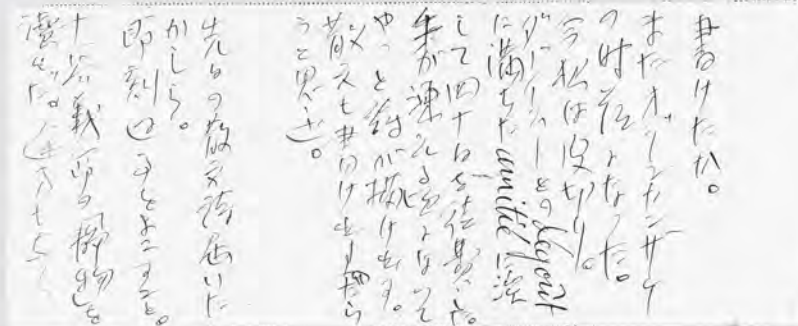
1



2



3



4

## Event

関連イベント  
詳細はホームページ、チラシ等でお知らせします。

### 中原中也記念館開館25周年記念 トーク&ワークショップ 「紙資料を未来へ ——文学館のシゴト」

講師：秦博志(資料修復家)

中原中也をはじめ、本展でも展示する富永太郎ら関連人物の資料の修復を数多く手がけた秦博志氏をお招きします。

#### ●トーク編

8月17日(土) 13:30～15:00

会場：セントコア山口

文学館を裏から支える資料修復という仕事について語ります。  
(※その後、希望者は中原中也記念館の展示見学、要入館料)

参加  
無料  
事前予約  
不要

#### ●ワークショップ編

8月18日(日)

第1回：10:30～12:00

第2回：14:00～15:30

会場：山口情報芸術センター(YCAM) 多目的室

中也が使っていた大学ノートと同じ糸綴じの手法で、綺麗な自由帳をつくれます。

定員：各回先着15名

※小学生以下は保護者同伴

参加費  
500円  
要事前  
予約



#### プロムナード・トーク

8月3日(土)、8月24日(土)、

9月22日(日) 各回14:00～(約40分)

会場：中原中也記念館

学芸担当職員が展示の解説を行います。

※要入館料、申込不要



## 中原中也記念館

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉1-11-21  
TEL. 083-932-6430 FAX. 083-932-6431  
URL: <http://www.chuyakan.jp/>

1. 富永太郎(旧制二高時代) 県立神奈川近代文学館蔵
2. 中原中也筆 富永太郎「ランボオへ(未定稿)」  
県立神奈川近代文学館蔵  
富永最後の詩とされる。『富永太郎詩集』発行のために中也が筆写したもの。
3. 村井康男編『富永太郎詩集』  
没後に刊行された富永の詩集。
4. 村井康男宛富永太郎書簡[1924年11月14日]  
県立神奈川近代文学館蔵  
「ダメイスト [=中也] との dégoût (嫌悪) に満ちた amitié (友情) に淫して四十日を徒費した。」という記述がある。